

星空散歩ライブ クラシック音楽を星空と共に

クリスマスに合わせ、12月9日(日)、プラネタリウムでコンサートを開催しました。出演は、地元の演奏会などを中心に活躍されている、豊田市ジュニアオーケストラ(弦楽四重奏)のみなさんでした。有名なクラシック曲から、誰もが聴いたことのあるクリスマス曲までたっぷりと演奏していただきました。宇宙の映像とクラシックの共演は、とても幻想的で、特別なひとときとなりました。参加されたお客様からは、「素晴らしい演奏や映像と共に一足早いクリスマス気分を味わうことができました。」「夢のような世界で、心がいやされました。」など、温かい言葉をたくさんいただきました。空気が澄みわたり、星がより輝いてみえる季節です。冬空を楽しみましょう。



親子で楽しむものづくり講座

オリジナルキャンドルを作ろう

12月2日(日)親子で楽しむものづくり講座「オリジナルキャンドルを作ろう」を開催しました。ものづくり講座は毎回男の子の参加が圧倒的に多いのですが、今回は女の子がたくさん参加しました。

「キャンドル」づくりは、まず容器に溶かしたロウを入れ、芯をさして基本の形を作ります。そこからデコレーションをしてオリジナルなものにしていきます。様々な色のロウでバラの花や葉っぱを作るのが難しそうでしたが、親子で工夫してきれいな花ができました。これを中心に置き、ハートや丸の形で飾ると見違えるほど、すてきなキャンドルの完成です。予想以上の自分の作品に参加者は大満足でした。お家で行うクリスマスパーティーのときに火をともしたいと言っている子がいました。

今回のクリスマスは例年よりファンタジックになったでしょう。



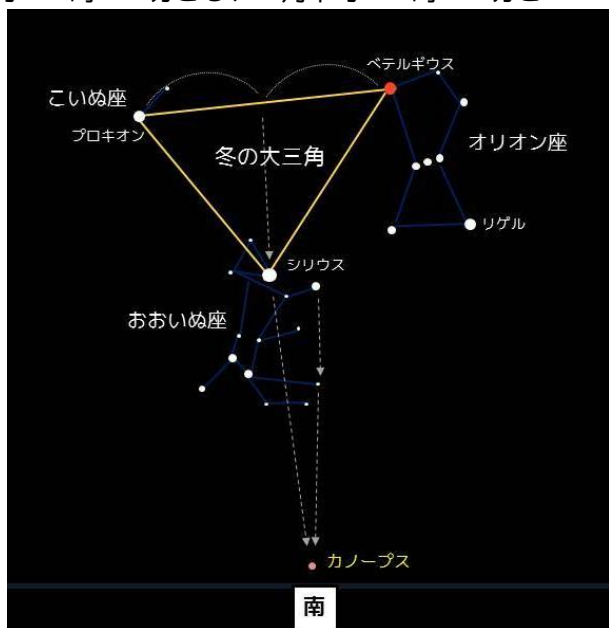
☆天文ピックス☆

カノープスという星を知っていますか？

カノープスは全天で2番目に明るい恒星で、りゅうこつ座にあります。場所は、冬のシンボル「冬の大きな三角」のずっとずっと低い空にあり昇ってきても見えている時間が短く、すぐに沈んでしまうため見るのが難しい星とされています。

カノープスが南中(南の空高くのぼるころ)する時間は、1月中旬22時30分ごろ、2月上旬21時30分ごろ、2月中旬20時30分ごろ

ですが、そのときでもおよそ高さ2度と、地平線すれすれにしか昇ってきません。また実際には、低い空で大気の影響を受けるため、赤くポツンとした暗い星にしか見えないのです。とにかく日本では見ることが難しい星。中国では「南極老人星」と呼ばれる「もし見ることができたら、長生きができる」おめでたい星とされていたようです。



「人形アニメーション制作の世界をさぐる！ 監督トークショーを開催」

11月24日(土)、プラネタリウムで放映中の番組「ノーマン・ザ・スノーマン」について、制作された八代健志監督にお話をいただきました。

この番組は、手作りの人形を少しずつ動かして撮影し、それを連続して映すことで映像にしています。その映像は、まるで人形が生きて動いているようです。

当日は、実際に使用された人形を使って撮影の様子を実演していただきました。わずか数秒の映像でも、手の動きや体の傾き、目の動きに至るまで、前後を見ながら少しずつ動かしていく様子は、制作の大変さをうかがわせるに十分なものでした。また絵コンテも見せていただき、登場人物に対する思いや監督のこだわりも聞くことができました。

参加者からは番組の最新作を希望する声があがり、終わってからも監督に質問したり写真撮影したりする姿も見られました。

